

分類	番号	質問内容	肯定感			前年比	目標値
			H30	R 1	R 2		
		生徒(回収率 全体:97.9%、1年:97.4%、2年:96.5%、3年:100.0%) 【参考(昨年度):全体:98.1%、1年:97.8%、2年:99.1%、3年:97.3%】					
全般	1	学校に行くのが楽しい。	70.7%	75.7%	78.4%	2.7%	
全般	2	自分の学級は楽しい。	77.6%	80.8%	80.8%	0.0%	
全般	4	先生は、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている。	77.6%	83.2%	88.5%	5.3%	
全般	5	先生は、お互いに協力し合っている。	73.4%	75.7%	82.6%	6.9%	
全般	6	先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	74.7%	76.4%	81.7%	5.3%	
			74.8%	78.4%	82.4%	4.0%	
総合学科	3	総合学科の仕組み選択科目の選び方がよくわかる。	76.9%	80.3%	82.0%	1.7%	
総合学科	9	系列や科目選択の決定についてのガイダンス(説明や相談)は十分であった。	77.0%	78.6%	82.2%	3.6%	
			76.9%	79.5%	82.1%	2.7%	
学習指導	7	授業はわかりやすく楽しい。	55.8%	58.4%	60.6%	2.2%	
学習指導	8	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	74.4%	77.5%	79.0%	1.5%	
学習指導	10	授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	72.8%	76.5%	75.8%	-0.7%	
学習指導	11	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	66.8%	71.0%	74.4%	3.4%	
学習指導	12	教え方に工夫をしている先生が多い。	66.1%	69.7%	73.4%	3.7% *	70.0% *
学習指導	13	評価の仕方や基準について事前に示されている。	81.8%	83.1%	88.0%	4.9%	
			69.6%	72.7%	75.2%	2.5% *	75.0% *
生徒指導	14	先生は、生徒の意見を聞いてくれる。	71.9%	75.0%	79.5%	4.5%	
生徒指導	15	学校生活についての先生の指導には納得できる。	61.9%	62.7%	65.2%	2.5%	
生徒指導	16	学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	74.5%	74.5%	76.3%	1.8% *	77.0% *
生徒指導	17	先生は、いじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。	73.0%	74.4%	78.0%	3.6%	
生徒指導	18	先生は、協力して生徒指導に当たっている。	76.3%	77.2%	82.5%	5.3%	
			71.5%	72.8%	76.3%	3.5%	
自主活動	19	ホームルーム活動は活発である。	74.4%	75.5%	80.1%	4.6%	
自主活動	20	部活動に積極的に取り組んでいる。	65.9%	60.8%	64.0%	3.2% *	65.0% *
自主活動	21	文化祭、体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	78.6%	78.0%	85.0%	7.0% *	80.0% *
自主活動	22	生徒会活動は活発である。	67.6%	66.4%	72.3%	5.9% *	70.0% *
			71.6%	70.2%	75.4%	5.2%	
進路指導	23	将来の進路や生き方について考える機会がある。	81.6%	82.8%	86.3%	3.5%	
進路指導	24	学校は、進路についての情報を知らせてくれる。	83.0%	81.9%	85.7%	3.8%	
			82.3%	82.4%	86.0%	3.7%	
人権教育	25	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	76.5%	77.2%	79.3%	2.1%	
人権教育	26	授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	70.7%	72.1%	73.0%	0.9% *	73.0% *
人権教育	27	学校で、男女は平等に扱われている。	71.4%	73.8%	75.7%	1.9%	
人権教育	28	人権について学ぶ機会がある。	80.1%	78.8%	78.9%	0.1%	
			74.7%	75.5%	76.7%	1.3%	
教育相談	29	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	71.6%	71.9%	76.1%	4.2%	
教育相談	30	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる。	64.2%	66.8%	65.9%	-0.9% *	67.0% *
			67.9%	69.4%	71.0%	1.7%	

*学校経営計画評価指標

平均

73.7%

75.1%

78.1%

分類	番号	保護者(回収率 全体:67.9%)【参考(昨年度):全体:60.8%】 質問内容	肯定感			前年比	目標値
			H30	R 1	R 2		
全般	1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	82.4%	78.8%	80.7%	1.9%	
全般	2	子どもは、自分の学級が楽しいと言っている。	77.1%	75.4%	76.7%	1.3%	
全般	3	先生は、子どもを理解している。	80.2%	80.4%	83.8%	3.4%	
全般	4	子どもは、学校に友達がいると言っている。	93.7%	94.6%	94.0%	-0.6%	
全般	8	学校では、子どもに関する個人情報を守られている。	93.4%	93.9%	94.1%	0.2%	
全般	9	学校は、保護者の願いにこたえている。	82.1%	83.6%	83.1%	-0.5%	
全般	10	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	69.5%	73.2%	76.8%	3.6%	
全般	27	学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	77.1%	81.5%	78.9%	-2.6%	
			81.9%	82.7%	83.5%	0.8%	
総合学科	5	総合学科の仕組みや選択科目の選び方がよくわかる。	76.5%	79.5%	79.3%	-0.2%	
総合学科	6	系列や科目選択の決定についての情報提供は十分であった。	77.8%	79.0%	77.8%	-1.2%	
総合学科	7	系列や選択した科目は子どもの進路選択につながるものが十分であった。	75.7%	79.3%	77.4%	-1.9%	
			76.7%	79.3%	78.2%	-1.1%	
学習指導	11	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	58.0%	62.8%	66.0%	3.2%	
学習指導	12	先生は、子どもの評価を適切・公平に行っている。	84.2%	85.9%	84.2%	-1.7%	
学習指導	13	学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。	73.4%	79.5%	75.5%	-4.0%	
			71.9%	76.1%	75.2%	-0.8%	
生徒指導	14	学校の生徒指導の方針に共感できる。	79.3%	77.5%	78.4%	0.9%	
生徒指導	15	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	83.0%	85.1%	85.4%	0.3%	
生徒指導	16	先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる。	80.3%	85.2%	84.1%	-1.1%	
			80.9%	82.6%	82.6%	0.0%	
自主活動	17	学校は、文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加できるよう工夫されている。	88.4%	89.0%	88.3%	-0.7%	
自主活動	18	この学校の部活動は活発である。	72.1%	76.8%	78.0%	1.2%	
			80.2%	82.9%	83.2%	0.3%	
進路指導	19	学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	83.9%	87.2%	87.0%	-0.2%	
			83.9%	87.2%	87.0%	-0.2%	
参画	20	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	58.1%	61.0%	45.0%	-16.0%	62.0%
参画	21	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	86.6%	88.2%	88.9%	0.7%	
参画	22	学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を設けている。	60.8%	65.4%	61.1%	-4.3%	
参画	23	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	70.3%	71.2%	73.1%	1.9%	
参画	24	PTA活動には参加しやすい。	39.2%	38.3%	36.1%	-2.2%	
			63.0%	64.8%	60.8%	-4.0%	
施設設備	25	学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	65.3%	68.8%	71.0%	2.2%	
			65.3%	68.8%	71.0%	2.2%	
人権教育	26	学校は、子どもに命を大切にす心や、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	80.8%	82.4%	81.2%	-1.2%	
			80.8%	82.4%	81.2%	-1.2%	
教育相談	28	学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。	84.3%	86.4%	85.8%	-0.6%	
教育相談	29	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	79.6%	77.8%	78.0%	0.2%	
			81.9%	82.1%	81.9%	-0.2%	
情報提供	30	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	78.6%	82.0%	81.4%	-0.6%	
			78.6%	82.0%	81.4%	-0.6%	

*学校経営計画評価指標

平均

76.8%

79.2%

78.7%

		教職員用(回収率 93.4%)【参考(昨年度):100.0%】						
分類	番号	質問内容	H30	R1	R2	前年比	目標値	
全般	1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	86.4%	80.6%	80.7%	0.1%		
全般	2	教員は生徒の意見をよく聞いている。	87.9%	77.4%	92.9%	15.5% *		
全般	3	教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている。	77.2%	77.5%	85.9%	8.4% *		
全般	4	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	75.9%	74.2%	76.8%	2.6%		
全般	5	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	66.1%	56.4%	52.6%	-3.8% *	70.0%	
全般	6	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	53.4%	58.0%	61.4%	3.4% *	60.0%	
全般	7	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	69.5%	77.4%	68.4%	-9.0%		
			73.8%	71.6%	74.1%	2.5%		
総合学科	8	総合学科の仕組みや選択科目の選び方も保護者・生徒に十分に伝わっている。	72.4%	72.6%	70.1%	-2.5%		
総合学科	9	生徒の進路に繋がるように系列や科目選択を指導している。	84.5%	82.2%	86.0%	3.8%		
総合学科	10	本校の教育活動には、総合学科らしさが十分である。	78.0%	71.0%	77.2%	6.2%		
総合学科	20	この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	74.1%	78.7%	75.5%	-3.2%		
			77.3%	76.1%	77.2%	1.1% *		
学校経営	11	学校運営に教職員の意見が反映されている。	62.1%	61.3%	57.9%	-3.4% *		
学校経営	12	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	49.1%	66.2%	63.1%	-3.1%		
学校経営	13	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	86.7%	91.9%	87.7%	-4.2%		
学校経営	14	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	56.9%	46.8%	57.9%	11.1% *	60.0%	
学校経営	15	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	80.0%	87.1%	79.0%	-8.1%		
学校経営	16	職員会議をはじめ各種会議が、教職員の意志の疎通や意見交換の場として有効に機能している。	60.0%	50.0%	49.1%	-0.9%		
学校経営	17	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	50.0%	72.6%	84.2%	11.6% *	70.0%	
学校経営	18	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。	81.4%	75.9%	80.7%	4.8%		
学校経営	19	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	67.2%	71.0%	80.7%	9.7%		
			65.9%	69.2%	71.1%	1.9%		
学習指導	21	生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。	81.0%	90.3%	87.7%	-2.6%		
学習指導	22	生徒の実態をふまえ、参加体験型の学習、指導方法の工夫・改善を行っている。	80.7%	87.1%	79.0%	-8.1%		
学習指導	23	評価の在り方について話し合う機会がある。	59.6%	56.4%	64.3%	7.9%		
学習指導	24	グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	81.0%	83.8%	80.7%	-3.1%		
学習指導	25	この学校では、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。	73.2%	77.5%	82.2%	4.7%		
学習指導	26	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	77.2%	85.5%	75.5%	-10.0%		
学習指導	27	コンピュータ等のICT情報機器が、授業などで活用されている。	91.5%	86.9%	82.4%	-4.5%		
			77.8%	81.1%	78.8%	-2.2%		
生徒指導	28	この学校では、生徒指導において家庭との連携ができています。	89.8%	88.7%	91.2%	2.5%		
生徒指導	29	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。	82.8%	80.7%	78.9%	-1.8%		
生徒指導	30	生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係機関との連携ができています。	75.9%	80.3%	82.2%	1.9%		
生徒指導	31	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	67.2%	67.2%	75.0%	7.8%		
			78.9%	79.2%	81.8%	2.6%		
自主活動	32	学校として、部活動の活性化について工夫している。	54.2%	56.4%	59.7%	3.3%		
自主活動	33	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	84.7%	88.7%	87.7%	-1.0%		
自主活動	34	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	58.6%	79.1%	84.2%	5.1%		
自主活動	35	生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	71.9%	77.4%	75.4%	-2.0%		
			67.4%	75.4%	76.8%	1.4%		
進路指導	36	この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。	80.7%	80.6%	94.7%	14.1% *	80.0%	
進路指導	37	この学校は、奨学金教育教材等を活用して奨学金制度等について指導している。	84.2%	73.4%	80.7%	7.3%		
進路指導	38	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	86.2%	82.3%	87.5%	5.2%		
			83.7%	78.8%	87.6%	8.9%		
地域連携	39	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	82.8%	90.4%	82.4%	-8.0% -	85.0%	
			82.8%	90.4%	82.4%	-8.0%		
人権教育	40	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	65.5%	71.0%	64.3%	-6.7%		
人権教育	41	教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	63.2%	79.1%	68.4%	-10.7%		
人権教育	42	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。	79.3%	82.3%	82.5%	0.2%		
人権教育	43	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	52.5%	59.6%	54.4%	-5.2%		
人権教育	44	人権HRにおいて様々な人権の課題を理解し、差別や偏見のない社会を旨とし学習をしている。	80.7%	86.9%	80.7%	-6.2%		
人権教育	45	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	72.4%	91.9%	84.2%	-7.7%		
人権教育	46	インターネットによる人権侵害や性的マイノリティの人権など現代的な教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。	65.5%	67.7%	59.7%	-8.0%		
			68.5%	76.9%	70.6%	-6.3%		
教育相談	47	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	87.7%	87.1%	93.0%	5.9%		
			87.7%	87.1%	93.0%	5.9%		
情報提供	48	家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	91.5%	91.9%	89.4%	-2.5%		
情報提供	49	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	84.2%	87.1%	82.4%	-4.7%		
			87.9%	89.5%	85.9%	-3.6%		
PTA活動	50	教職員はPTA活動に参加している。	33.9%	45.2%	38.6%	-6.6% -	45.0%	
			33.9%	45.2%	38.6%	-6.6%		

*学校経営計画評価指標

平均

73.8%	76.7%	76.5%
-------	-------	-------

令和2年度 学校教育自己診断分析

1 生徒（資料1参照）

- ・4の「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」では、前年比5.3ポイント増、5の「先生はお互いに協力し合っている」では、前年比6.9ポイント増という結果が出ている。14の「先生は生徒の意見を聞いてくれる」については前年比4.5ポイント増となっている。これらについては様々な要因が考えられるが、年次主任会議で各学年間の連携が取れており首席や養護教諭も入って十分な情報交換を行っていることが影響していると考えられる。次年度も引き続き肯定率が上がるように取り組んでいく。
- ・12の学習指導について（前年比3.7ポイント増）「教え方に工夫している先生が多い」という項目ではR元年度では69.7%であったがR2年度では73.4%に上昇。学力向上プロジェクトチームの先生方を中心に授業改善、学力向上をめざし、「授業研究プロジェクトチーム」、「ICT機器活用研究プロジェクトチーム」、「放課後学習プロジェクトチーム」の3つに分かれて、校内研修の企画と運営について協議を行ったり、今年度は特に、教頭、首席、学力向上プロジェクトチームのメンバーからなる、オンライン授業委員会の役割も担いながら、主体的に活動し、教員研修の機会を増やしたことなどが肯定的回答の増加につながったと思われる。
- ・16の生徒指導「学校では生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている」という質問内容では3年連続70%を超えている。引き続き、生徒の意見を聞きつつ、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れていきたいと考えてる。
- ・20の「部活動に積極的に取り組んでいる」21の「文化祭、体育祭は楽しく行えるよう工夫されている」22の「生徒会活動は活発である」については、H30年度からR元にかけて前年比がマイナスであったが、R元年度からR2年度にかけて、前年比がプラスに転じている。生徒会部創設4年目で様々な形で進化をとげ、生徒の自主性を尊重して取り組んできた結果であると考えている。引き続きより良い活動・行事へと発展させていく。
- ・26の「授業などで豊かな心や人の生き方について考える機会がある」では、前年比0.9ポイント増となっており、引き続き、授業も含め学校の教育活動全体を通じて、豊かな心や人の生き方について考える機会をつくり育てていく。
- ・30の「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる」という質問内容では、生徒の肯定率が65.9%、前年比は0.9ポイント減となっているが、29の「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」では肯定率が76.1%、前年比4.2ポイント増加しており、教育相談の2項目の平均は71.0%で昨年より1.7%増加している。
- ・生徒の肯定率が年々上がってきている。

2 保護者（資料2参照）

- ・20の「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」という質問内容では、前年比16.0ポイント減。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響（感染拡大防止の観点から）で文化祭が中止されるなど、保護者が学校に来ることが減ったことが原因。
- ・平均の方も上昇傾向になっている。

3 教職員（資料3参照）

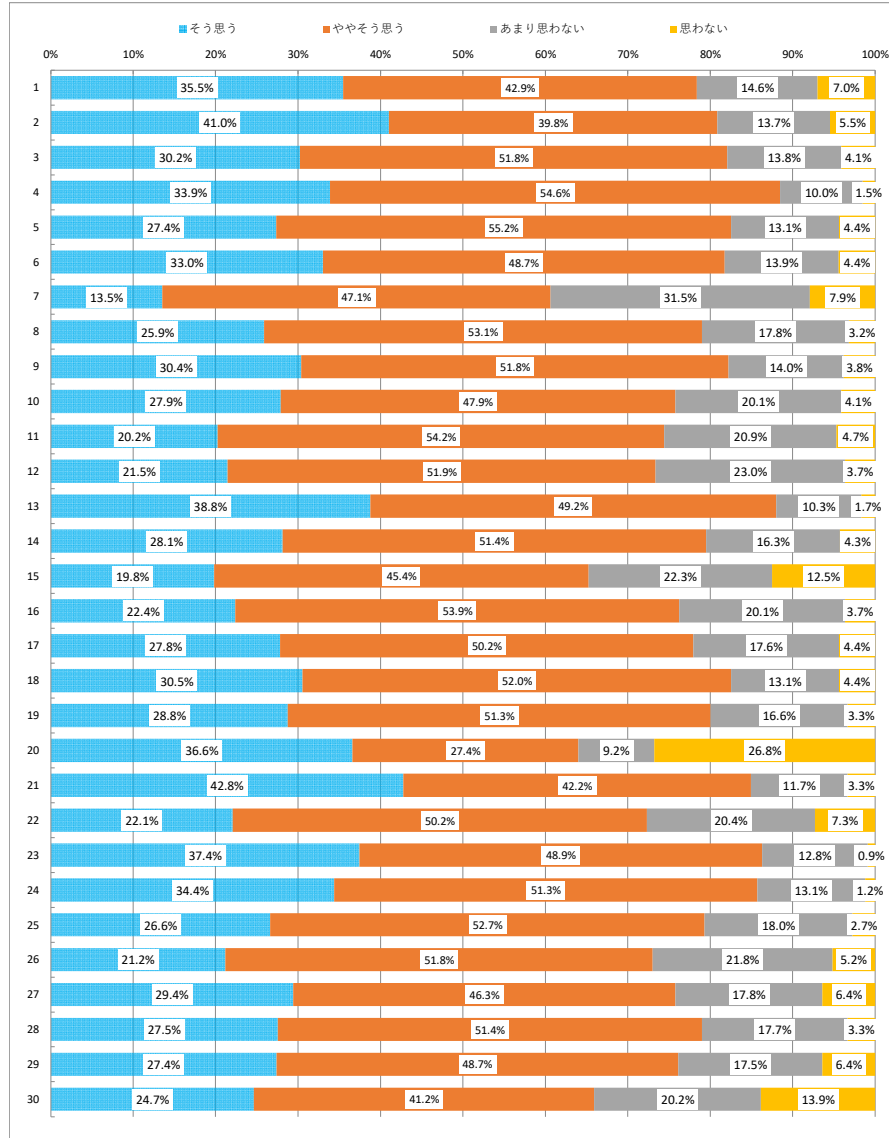
- ・2の「教員は生徒の意見をよく聞いている」では年々数値が上昇していることに加えて、前年比が15.5ポイント増となっており、全項目の中で一番高い数値になっている。
- ・5の「教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」では、前年比3.8ポイント減。令和2年度の数値が52.6%という結果が出ている。引き続き、教職員の同僚性を高めるための取り組みを行い、今後も自己と他者を認め合いお互いに協力しあえる雰囲気づくりを全教職員が意識するよう取り組んでいく。
- ・6の「初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとられている」という質問内容では、教員肯定率は61.4%で目標値を上回ることができ、3.4ポイント上昇。経験の少ない教員の学校経営力を高めるために、教務・進路・生徒指導研修やクラスづくり研修等を実施し、チームによる教員の資質向上を図った結果があらわれている。
- ・14の「各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している」では、H30からR元に向けて56.9%から46.8%と前年比10.1ポイント減となっていたが、R元からR2にかけては、46.8%から57.9%と前年比11.1ポイント増になった。年次主任会議で各学年間の連携が取れており、首席も入って十分な情報交換を行い、分掌との情報共有が行われたことが影響していると考えられる。次年度も引き続き肯定率が上がるよう取り組んでいく。
- ・17の「校内研修体制が確立し、計画的に研修が実施されている」については、前年比11.6ポイント増であり目標値を超えて84.2%となっている。今年度はオンライン授業についての教員向けの研修を8月6日（木）、10月7日（水）、12月17日（木）に実施したことなどが数値にあらわれていると考えられる。引き続き、校内研修体制の充実をはかり、計画的に研修を行って行く。
- ・34の「ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる」についてもH30からR元にかけて58.6%から79.1%と大きく数値が上昇、R元からR2にかけても79.1%から84.2%と上昇しており、前年比5.1ポイント増となっている。これらについても様々な要因が考えられる中で、年次主任会議で各学年間の連携が取れており、首席も入って十分な情報交換を行っていることが影響していると考えられる。次年度も

引き続き肯定率が上がるよう取り組んでいく。

- 36の「この学校では望ましい勤労観、職業観を持つことでできるよう、系統的なキャリア教育を行っている」では、「フィールドコア平野」と生徒との交流会（1月21日（木）、1月28日（木）の交流会は新型コロナウイルスの影響もあり、実施できなかった）や外部企業を招いて職業についてアクティブラーニングを実践した結果、肯定率が94%となり、前年比14.1ポイントも増加した。
- 39の「保護者や地域の人々と接する機会を設けている」では前年比8ポイント減、50の「教職員はPTA活動に参加している」についても前年比6.6ポイント減であった。新型コロナウイルス感染症の影響で活動が減少したことが原因と思われる。
- 41の「教育活動において奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている」では前年比10.7ポイント減になっているが、例年行われている、喜連西小学校のサマーキャンプやクリスマスリースづくり等が、新型コロナウイルスの影響で実施できる機会が少なかったことが原因と考えられる。引き続き、地域連携や学校説明会などで、生徒が積極的な参加を促していく。
- 教職員の肯定率も上昇傾向になっている。

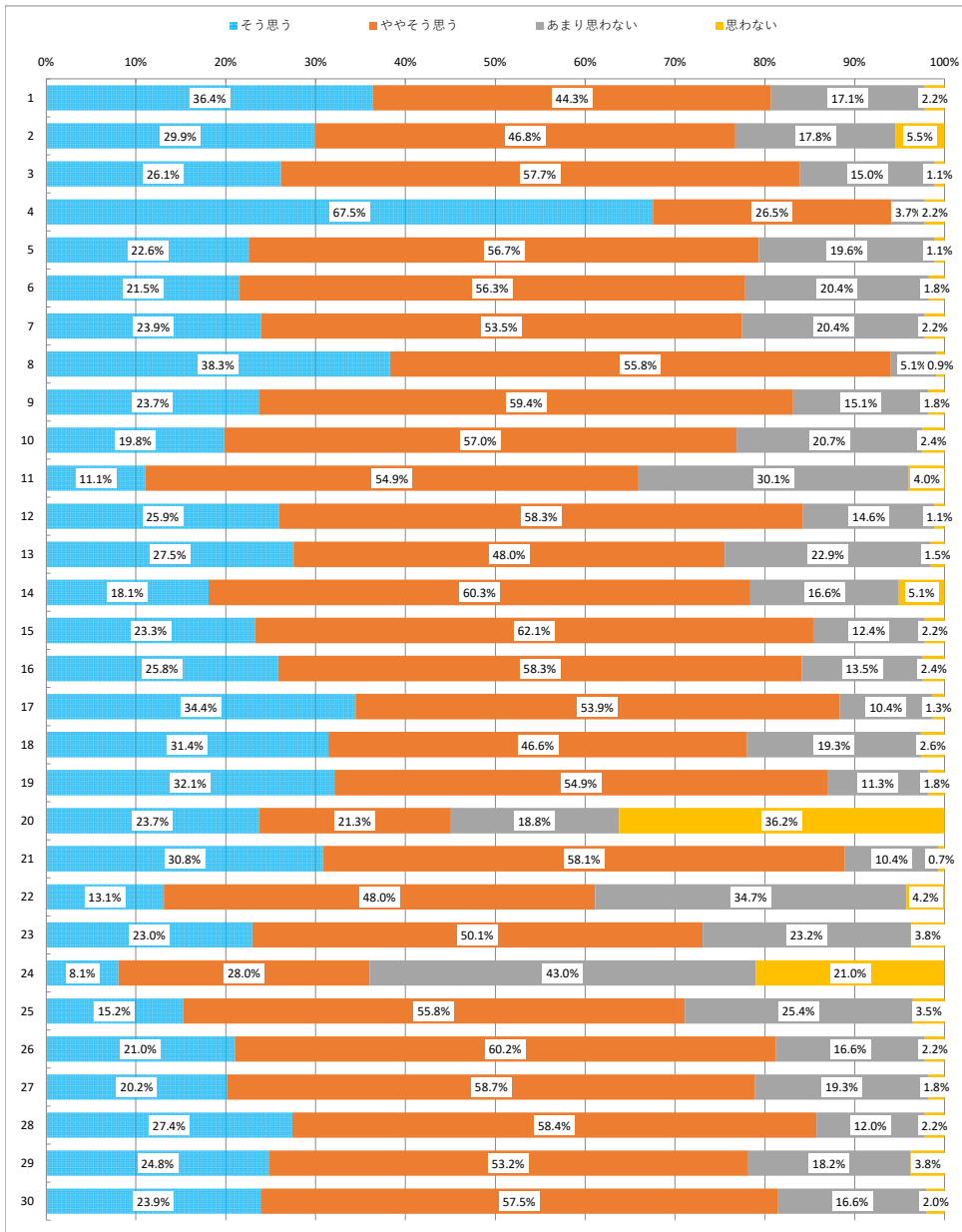
学校教育診断(生徒全体用)集計結果

生徒全体



- 1 学校に行くのが楽しい。
- 2 自分の学級は楽しい。
- 3 総合学科の仕組み選択科目の選び方がよくわかる。
- 4 先生は、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている。
- 5 先生は、お互いに協力し合っている。
- 6 先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。
- 7 授業はわかりやすく楽しい。
- 8 先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。
- 9 系列や科目選択の決定についてのガイダンス(説明や相談)は十分であった。
- 10 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。
- 11 生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。
- 12 教え方に工夫をしている先生が多い。
- 13 評価の仕方や基準について事前に示されている。
- 14 先生は、生徒の意見を聞いてくれる。
- 15 学校生活についての先生の指導には納得できる。
- 16 学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。
- 17 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。
- 18 先生は、協力して生徒指導に当たっている。
- 19 ホームルーム活動は活発である。
- 20 部活動に積極的に取り組んでいる。
- 21 文化祭、体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。
- 22 生徒会活動は活発である。
- 23 将来の進路や生き方について考える機会がある。
- 24 学校は、進路についての情報を知らせてくれる。
- 25 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。
- 26 授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある。
- 27 学校で、男女は平等に扱われている。
- 28 人権について学ぶ機会がある。
- 29 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。
- 30 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる。

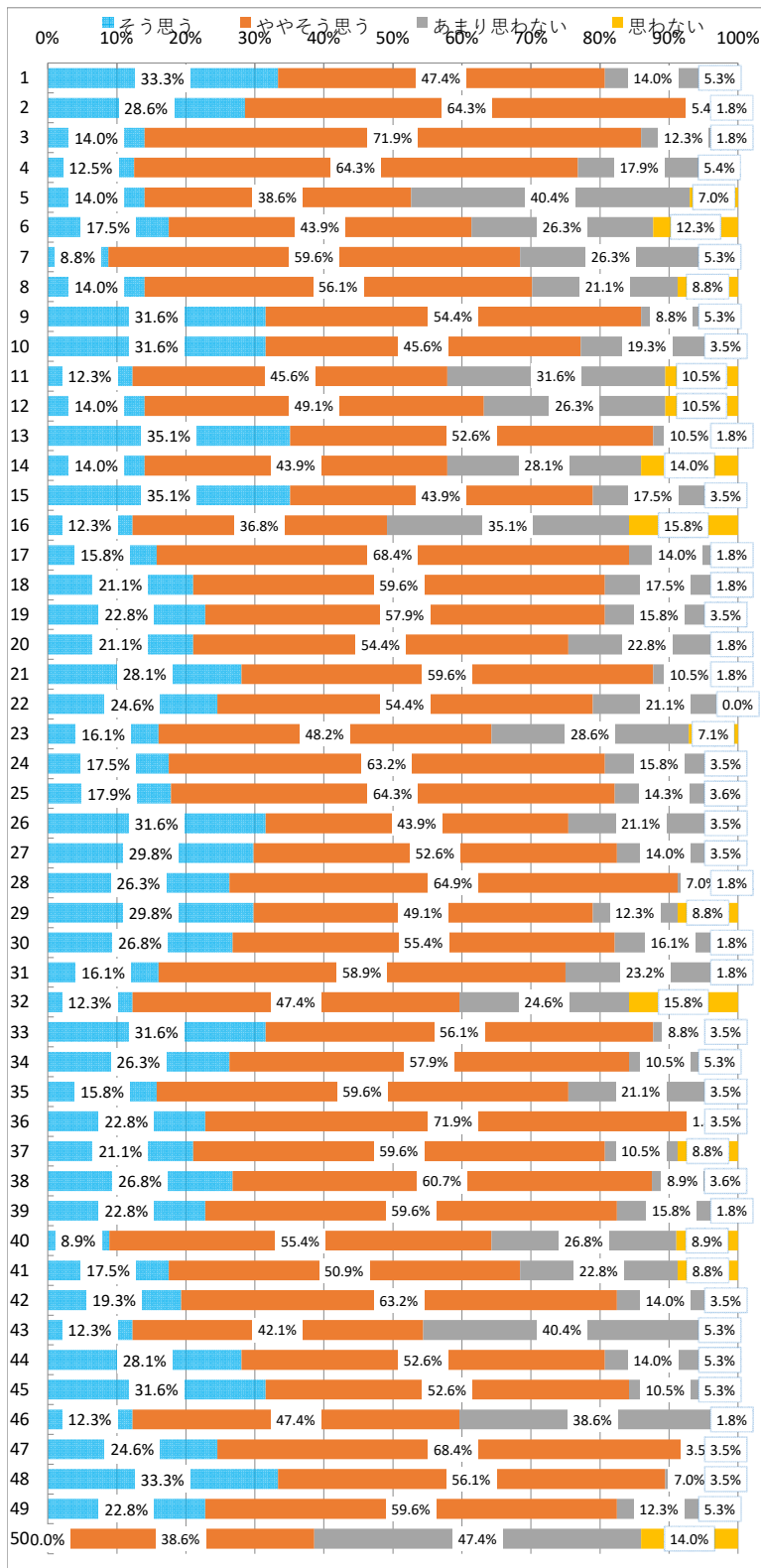
学校教育診断(保護者用)集計結果



保護者

- 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。
- 子どもは、自分の学級が楽しいと言っている。
- 先生は、子どもを理解している。
- 子どもは、学校に友達がいると言っている。
- 総合学科の仕組みや選択科目の選び方がよくわかる。
- 系列や科目選択の決定についての情報提供は十分であった。
- 系列や選択した科目は子どもの進路選択につながるものが十分であった。
- 学校では、子どもに関する個人情報を守られている。
- 学校は、保護者の願いにこたえている。
- 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。
- 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。
- 先生は、子どもの評価を適切・公平に行っている。
- 学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。
- 学校の生徒指導の方針に共感できる。
- 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。
- 先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる。
- 学校は、文化祭や体育祭などの学校行事に積極的に参加できるよう工夫されている。
- この学校の部活動は活発である。
- 学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。
- この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。
- 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。
- 学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を設けている。
- 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。
- PTA活動には参加しやすい。
- 学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。
- 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。
- 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。
- 学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。
- 子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。
- 学校は、教育情報について、提供の努力をしている。

学校教育診断(高等学校・教職員用)集計結果



- 1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。
- 2 教員は生徒の意見をよく聞いている。
- 3 教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている。
- 4 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。
- 5 教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。
- 6 初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。
- 7 この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。
- 8 総合学科の仕組みや選択科目の選び方も保護者・生徒に十分に伝わっている。
- 9 生徒の進路に繋がるように系列や科目選択を指導している。
- 10 本校の教育活動には、総合学科らしさが十分である。
- 11 学校運営に教職員の意見が反映されている。
- 12 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。
- 13 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。
- 14 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。
- 15 学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。
- 16 職員会議をはじめ各種会議が、教職員の意志の疎通や意見交換の場として有効に機能している。
- 17 校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。
- 18 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。
- 19 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。
- 20 この学校の教育活動には、他の学校にない特色がある。
- 21 生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している。
- 22 生徒の実態をふまえ、参加体験型の学習、指導方法の工夫・改善を行っている。
- 23 評価の在り方について話し合う機会がある。
- 24 グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。
- 25 この学校では、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。
- 26 学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。
- 27 コンピュータ等のICT情報機器が、授業などで活用されている。
- 28 この学校では、生徒指導において家庭との連携ができています。
- 29 生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。
- 30 生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができています。
- 31 この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。
- 32 学校として、部活動の活性化について工夫している。
- 33 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。
- 34 ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。
- 35 生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できる学校全体で支援している。
- 36 この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。
- 37 この学校は、奨学金教育教材等を活用して奨学金制度等について指導している。
- 38 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。
- 39 保護者や地域の人々と接する機会を設けている。
- 40 教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。
- 41 教育活動において、奉仕等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。
- 42 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。
- 43 人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。
- 44 人権HRにおいて様々な人権の課題を理解し、差別や偏見のない社会を自らが目指し学習をしている。
- 45 いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。
- 46 インターネットによる人権侵害や性的マイノリティの人権など現代的な教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。
- 47 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。
- 48 家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。
- 49 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。
- 50 教職員はPTA活動に参加している。